

性教育講話を実施しました。

実施日時	6月28日(水)	6校時
場所	第1体育館	
対象	全校生徒	
講師	助産師 川村 ひとみ 先生	

内 容 生命の大切さ、性感染症、妊娠・出産などについて

講話は、講師の先生の自己紹介から始まりました。「幸せですか。」の問いかけに、自分を振り返りました。先生の話に引き込まれ、聞いているうちに、自分の幸せだけではなく、相手の幸せも考えないといけないことに気づきました。赤ちゃんの映像がとても素敵でした。性感染症の感染拡大を体感するゲームに、怖さを感じました。最後の朗読で自分の「命」について、大切に育ててくれた家族について考えることができました。

<生徒の感想より>

- ★子どもが誕生することは、とても幸せなこと。でも、望まない妊娠をしたり、させたりすると、とても嫌な気持ちになるし、誰も嬉しくはならないことなので、子どもが誕生して幸せな気持ちになるようにしたい。
- ☆最後の朗読を聞いて、今まで自分がどれだけ大切にされてきたか、改めて考えさせられました。相当な苦勞を乗り越えて育ててくれた親に感謝しています。
- ★ムービー（動画）を観て、私が生まれた時の親の気持ちはどんなものなのか、また、嫌いで怒っているわけではなく、私の事を思って怒ってくれていることを知って、とても感動しました。
- ☆助産師は、赤ちゃんが生まれるときの手助けだけでなく、全ての子どもと女性の幸せを支えるということを知り、とても素敵なお仕事だと思ったし、無くてはならない存在だと感じました。
- ★幸せというのは、自分も相手も大切にする。つまりお互いを思いやることが大切であることがわかりました。
- ☆自分達の行動に責任を持って、自分の事も相手の事も考え、大切にしていけないといけないと感じました。



↑ 「今、幸せですか？」



↑ 妊娠時の胎児の写真